

第2回太平洋津波訓練「Exercise Pacific Wave 08」について

太平洋沿岸諸国が参加する太平洋津波訓練の第2回訓練が、平成20年10月29日(水)から30日(木)（日本時間）にかけて実施されます。

太平洋沿岸諸国が組織する太平洋津波警戒・減災システム政府間調整グループ（ICG/PTWS）^{※1}は、各国における津波警報体制の機能確認及び津波防災に対する意識の高揚を目的として、太平洋広域にわたる津波の発生を想定した国際的な津波情報伝達訓練を平成20年10月29日(水)午前9時頃から30日(木)午前9時頃にかけて実施します。

この訓練は「Exercise Pacific Wave 08」と呼ばれ、ICG/PTWSが行う訓練としては平成18年5月に第1回が実施されて以来2回目になります^{※2}。

今回の訓練では、三陸沖の地震による津波の発生を想定し、太平洋津波警報センター、西海岸/アラスカ津波警報センター（いずれも米国）、及び北西太平洋津波情報センター（気象庁）が津波情報を発表、これを受けた訓練参加各国は、それぞれが立てた訓練計画に基づいて国内への津波警報発表、伝達、防災対応等の訓練を実施します。

今回、気象庁は下記の訓練を実施します。

- 1) 太平洋津波訓練として、ICG/PTWSの枠組みにおける国際的な津波情報センターである北西太平洋津波情報センターから、北西太平洋及び南シナ海沿岸諸国への津波情報の発表（別紙1参照）
- 2) 国内における訓練として、1)とは別に29日午後の地震発生を想定し、防災機関へ津波警報・注意報を伝達^{※3}

※1 UNESCO/IOC（ユネスコ政府間海洋学委員会）の下に設置されている。

※2 参加国は別紙2を参照。

※3 国内定期訓練を兼ねる。

本件に関する問い合わせ先：

地震火山部地震津波監視課 国際地震津波情報調整官、国際津波情報係長
電話：03-3212-8341（内線4552、4578）

第 2 回太平洋津波訓練「Exercise Pacific Wave 08」シナリオ

10 月 29 日

09 時 00 分 (日本標準時、以下同様)

三陸沖でマグニチュード 8.5 (後に 9.2 に更新) の地震が発生。(想定)

09 時 05 分～

- ・北西太平洋津波情報センター (気象庁) は、北西太平洋及び南シナ海沿岸諸国へ訓練用津波情報を発信。
- ・太平洋津波警報センター、西海岸/アラスカ津波警報センターは、太平洋沿岸諸国へ訓練用津波情報を発信。

↓

20 時 45 分

北西太平洋及び南シナ海全域に津波が到達し、北西太平洋津波情報センター (気象庁) は、北西太平洋及び南シナ海沿岸諸国へ最終の訓練用津波情報を発信 (通算 9 通目)。

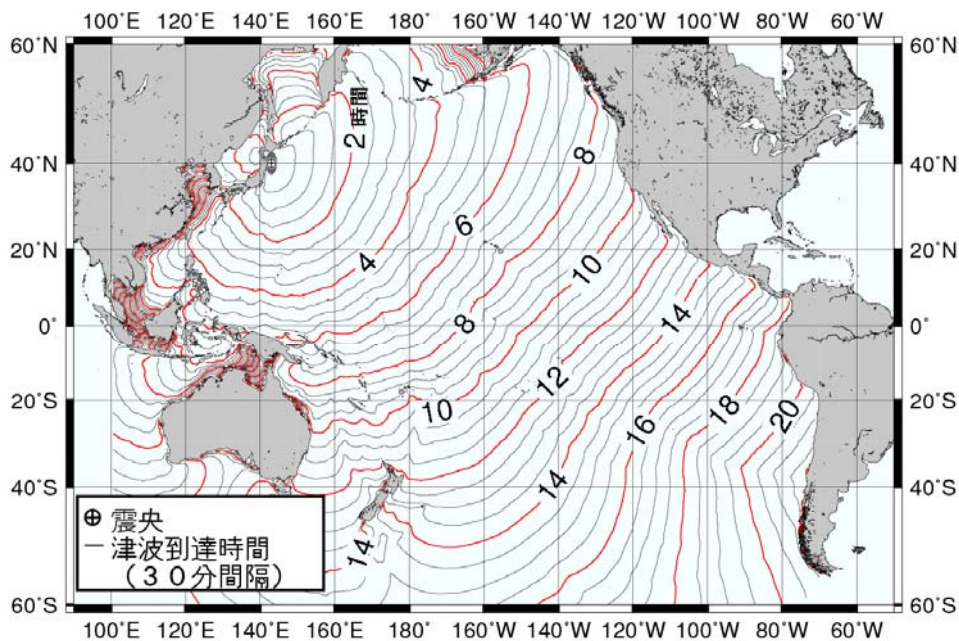
↓

10 月 30 日

08 時 40 分

太平洋全域に津波が到達し、太平洋津波警報センター、西海岸/アラスカ津波警報センターは、太平洋沿岸諸国へ最終の訓練用津波情報を発信、訓練終了。

太平洋津波訓練で津波が太平洋を伝播する様子



10月22日現在、太平洋津波訓練に参加を表明している国は以下の23の国または地域。うち、下線は北西太平洋情報センターから津波情報が提供されるもの。

カナダ、チリ、中国、コロンビア、クック諸島、コスタリカ、エクアドル、エルサルバドル、仏領ポリネシア、ミクロネシア連邦、ニューカレドニア、ニカラグア、日本、マレーシア、ニュージーランド、ニウエ、ペルー、ロシア、サモア、シンガポール、韓国、タイ、アメリカ合衆国